

1 授業の到達目標及びテーマ

この授業においては、「教師」という職業について、その社会的地位、役割、使命、また歴史や制度などに関して多面的に検討し、理解を深めることを目的とする。

さらにこの授業を通して、各自が職業として教職を選択するに際して意欲や適性等を考慮しつつ、自らの目指すべき教師像、理想の教師像を思い描くことができるようになることが期待される。

2 授業の概要

教育者としてのやりがいや使命、社会的地位と役割など、教職の意義について理解するとともに、教員をめぐる法的規定や制度的位置付け、また学校における職務内容など、教育職としての役割を理解する。

特に実際の学校現場における教員の職務や教育委員会・地域・保護者とのかかわり方などにも焦点を当て、今後の進路として教職を志す者が、毎時間において教職の専門性や教師に求められる役割と課題など、教員という職業に関する課題を自らの問いとして省察されるように授業が構成される。

3 授業実施計画

月 日	授 業 内 容
第1回	○ オリエンテーション ～ 教員免許を取得するために ○ 人間の成長と「師」～各自の出会った先生について振り返り、人生の「師」とはどのような人か話し合う。
第2回	○ 「教師」の資質と使命（Ⅰ）～「教職観」の変遷やその時々をめぐってなされる社会的評価に基づく「教師像」について検討し、「あるべき教師像」について考察する。
第3回	○ 学校における教員の職務（Ⅰ）～ 学級経営における教員の役割と、生徒との関わりについて考察する。
第4回	○ 学校における教員の職務（Ⅱ）～ 教科指導における指導法や評価法など、学習指導の在り方を考察する。
第5回	○ 「教師」の資質と使命（Ⅱ）～ 文学作品など多くの先人の教育観、教師観について検討しあるべき教師像について幅広く考察する。（全員発表）
第6回	○ 教育関係法規（Ⅰ）～ 憲法、教育基本法、学校教育法など、教育や教員に係る法律について幅広く学ぶ。
第7回	○ 教育関係法規（Ⅱ）～ 教育公務員特例法、教育職員免許法、地方公務員法、地教行法など、教育や教員に係る法律について幅広く学ぶ。
第8回	○ 財政と教育行政～ 国及び秋田県の財政と教育行政について考察する。 ○ 秋田県教育委員会の施策等 ～ 県教育委員会の施策や方針将来構想、人事評価システム、研修制度等について学び、教育及び教育行政について理解を深める。
第9回	○ 学校や教師をめぐる課題と対応 ～時代の変遷（国際化、情報化、少子高齢化など）に伴って、学校や教師は多くの問題や課題を抱えているが、これら現代的課題について検討し、その対応や今後の展望を考える。 ○ 「教師」の資質と使命（Ⅲ）～ 中央教育審議会答申による期待される教師像について理解を深めるとともに、どのような教師を目指すのかについて考察を深める。
第10回	○ 期末テスト～ 講義の理解度を評価し、総括を行う。

テキスト

とくに指定しない。毎回授業に関連するプリント、レジメを配布する

参考書

授業において、適宜紹介する。

学生に対する評価

評価は次の観点によって行う。60点以上に単位認定をする。

授業の平常点（ディスカッションへの積極的参加や発言など）… 20%

小レポート（随時）… 20%

期末考査… 60%

なお、欠席は4回まで認められるが、欠席3回で10点、4回で20点減点される。